

あづみんでGO!

スタートから1年。その利用状況は？



地域間の交流や連携を推進し、安全で快適な暮らしを目指すうえで、合併前の交通体系を再構築し、新たな公共交通システムを確立することは、大きな課題となっていました。

市では、この課題に対応するため、国土交通省と連携し、検討会を設置。話し合いを重ね、14台の乗り合いタクシーを中心とした新・公共交通システムを昨年9月から運行しています。

スタートから1年。この利用状況と、利用手順についてあらためてご案内します。

利用者が毎月増加

あづみんの利用者は、開始時の約2倍で、1日の平均利用者数（9月）を見ると、360人となっています。

利用者の評価もおおむね良好で、アンケート調査では、9割近くの人が運行されて良かったと答えています。また、乗合利用については、「気にならない」、「ほとんど気にならない」と考えている人が9割以上となりました。

利用者の傾向は、女性が全体の約8割、70歳以上が7割以上という結果になりました。

ほぼ1日おきに利用しているという豊科地域の女性（79）は、「どんどん利用できるから昨年より外出が増えました。今は親しみを感じます」と感想を話してくれました。

なお、利用者アンケートなど、利用状況の詳細は、市ホームページ、または県安曇野庁舎内企画財政部企画政策課でご覧いただけます。

全国から注目

公共交通の問題は、多くの地域に共通する課題だといえます。このことから「あづみん」は、全国の自治体や報道機関から注目されています。

10月28日には、村井県知事が視察に訪れました。知事は市社会福祉協議会で関係者から説明を聞いた後、受付センターを見学。その後、県立こども病院から安曇野赤十字病院までの20分ほどを一般の利用者と一緒に乗車しました。車内では利用者から直接感想を聞き、県安曇野庁舎で開かれた住民懇談会では、地域公共交通協議会委員か



利用者から直接感想を聞く村井知事（写真左）

あづみんとは…

事前に電話などで予約した人の家や指定する場所を順次まわりながら、それぞれの目的地まで運行する「乗り合いタクシー」方式の交通システム。平日の午前8時便から午後4時便まで（昼休みの午後1時から2時を除く）、おおむね1時間ごとに行き便・帰り便、各1便を運行しています。運賃は中学生以上300円が基本で、1乗車で移動できる範囲が決まっています。範囲外に移動する場合は、乗り継いで利用できます。



7人のスタッフがご案内しています。

ご利用は…

- 原則として利用登録が必要です。（下記参照）
- 予約時間は運行日（平日）の午前7時40分から午後4時40分まで。利用したい便の30分前までに受付センターに電話してご予約ください。
- 1週間前から予約することができます。
- 午前8時の便は前日までの予約のみで当日はお受けすることができません。
- 「乗り合い」ですので、お迎えの時間の指定はできません。時間に余裕を持ってご利用ください。

受付センター TEL **71・1233** ※番号はお間違えのないようにお願いします。

ら意見を聞きました。

知事は、「公共交通を今後どうしていくかは、医療とあわせ、地域の2大問題ととらえている。地域ぐるみで、住民、行政、事業者が一体となって議論し、持続可能なものにしていくて欲しい」と話していました。

登録をお待ちしています

「あづみん」は原則、利用登録が必要です。登録は無料で、随時受け付けています。

詳細は、あづみん受付センター（上記電話番号）までお問い合わせください。また手続きに必要な「利用登録票」は、各地域支援課窓口や市社協窓口、市ホームページ、社協ホームページで入手できます。

